

滋賀が好き。その熱意を込めたコンテンツ群で 「滋賀おこし」の風を興すクリエイターズ。



ホテルで行われた「甲賀戦士忍ジャガー」のディナーショー



「アミンチュ(淡海人)のための アミンチュ」が発信する元気な番組

「アミンチュプロジェクト」のコンセプトのもと、BBC(びわ湖放送)が放映する多彩なコンテンツ群が、滋賀県を元気にする「風」を起している。

滋賀県各地の「地域のニュース」を県鳥カイツブリがモチーフの着ぐるみキャラクターがレポートする「知ったかぶりカイツブリにゆーす」。地域密着ヒーロー総登場のフラッシュアニメ「滋賀ツツマン」。スタイリッシュな特撮ヒーロー「甲賀戦士忍ジャガー」。どれも滋賀県のローカリティ

ティーに深く根差した視点から発想されたものだけに、中央発信型コンテンツにはない魅力を持ち、コミュニティ内でのみ共有されている話題や生活がそのまま番組化されている身近さが特色。多くの県民から愛されているのもうなずける。これらを制作しているのが、実写作品の監督や楽曲の作詞・作曲も手掛ける西川興社長を筆頭に、イラストレーターやストーリーテラーなど、滋賀県在住の気鋭のクリエイターたちが集まる株式会社まちおこし(守山市)だ。

を深めたり、地域をアクティブにするための「滋賀を盛り上げるプロジェクト」だ。「コンテンツ制作にこだわらず、さまざまなおもてなし」を仕掛ける西川社長たちはコンテンツ制作にとどまらない。「カイツブリにゆーす」の人気キャラ「野洲のおっさん」が児童虐待防止キャンペーンや滋賀県産米粉のPRにひと役買うなど、放映で人気を得たキャラクターをさまざまな地域貢献活動などへ拡大。他にも湖国のご当地キャラ総出演の劇場版映画「笑ってバツカーズ」の制作、普通の少女たちのアイドル化プロジェクト「アミンチュガール」といった地域活性化ムーブメントにも力を注ぐ。7月1日の「びわ湖の日」の告知のために、2011年から続ける「野洲のおっさん」のびわ湖一周行脚は、毎年、大勢の県民から応援され、「滋賀はひとつ」とい

※フラッシュアニメ「Adobe Flash」というソフトで作成されたアニメ。

う心情をさざ波のように広げてきた。「私たちが売るのはコンテンツやキャラクターではなく、滋賀を動かす『風』なのだと思う。すべての取り組みを滋賀の元氣につなげたい」。西川社長のこの思いがすべてを物語る。

「東京と違う滋賀流でやりたい」 それが地域密着型「コンテンツ」の原点

スポンサー料やキャラクター商品販売という点で、市場規模が小さな地方を対象にするコンテンツビジネスは成り立ちにくいとされてきた。この会社が独自色の濃いローカルコンテンツビジネスを成り立たせたのは、地域に役立ちたいと願う「熱」の賜物。徹底した「ローカルの目線」に加え、一連の事業が「地域経済循環創造事業交付金」の採択や、新技術の開発や新分野への進出をサポートする「ニュービジネスサポート資金」の融資、ニュービジネス奨励金である「しがぎん野の花賞」の受賞など、滋賀県や地元金融機関からの金融面でのバックアップを得られたのも大きな要因であろう。

コピーライターだった西川社長が仲間たちと一緒に起業したのは2000年。当初はモバイルマーケティングやWeb漫画など多様な仕事を手掛けていたが、インターネット動画共有サービスの出現を機にフラッシュアニメの可能性に着目し、毎月100本もの動画をつくって自

社サイトにアップ。東京の有名なクリエイティブ集団の目にとまり、連携の誘いも受けた。「ありがたかったが、能力主義の東京流に呑み込まれるのは嫌だった。もっと自分たちらしく、滋賀流でやりたい。そう考えたことが、地域密着型コンテンツに目を向けるきっかけになった」。

こんな経緯から、08年に初の番組企画をBBCへ持ち込む。平和堂のカードを持つと大人になった気分になる「そんな滋賀県民だけが共有できる」あるあるネタを歌とアニメで表現する「知ったかぶりカイツブリ」だ。これが大きな共感を呼び大ヒットとなった。

もっと滋賀を元気づけよう 新ツールも意欲的に導入中

西川社長は「地域メディアや行政等の情報発信をカバーするための『すぎま』を、私たちが埋めていく。県民が待ち望む『楽しくて共感できる番組』をつくる」とともに、それを地域おこしへと発展さ



車から手を振って応援を受ける、びわ湖1周行脚中の「野洲のおっさん」



滋賀県庁に投影されたプロジェクションマッピング

せることができれば、真のローカルコンテンツビジネスが生まれる」と気づき、統一コンセプト「アミンチュ」を立案。以降は、前述のような「コンテンツとムーブメントの統合」を特色とする活動を継続している。

「ソーシャルネットワークのように県民みんなで創造する番組」「受け手が一緒に盛り上がるからムーブメントになる」「地域が動き、企業も動くからビジネ

スになる」など、この会社の成功の理由はさまざまだが、原点は「滋賀愛」だ。

「最近、プロジェクションマッピングも手掛け始めた。例えば、安土城天守閣が毎週末の夜に映像でよみがえる。そういった発想で、夜間観光の魅力に乏しい滋賀に元氣を広げていきたい」と抱負を語る西川社長。そのコンテンツ制作の手腕は県外や海外からも注目され始めている。

Profile

株式会社まちおこし

- 本社/守山市吉身4-1-23
- 設立/2000年
- 資本金/1,000万円
- 従業員数/6名
- 事業内容/テレビ番組企画・制作、テレビアニメ企画・制作、楽曲制作。まんが制作、イベント企画・制作、ゲーム制作その他

<http://www.okosu.jp/>



代表取締役社長
西川 興氏

Voice

琵琶湖を一周する「野洲のおっさん」への声援。児童虐待防止啓蒙のプロジェクト「アミンチュ」に注がれる視線。私たちのムーブメントが、滋賀の心をつなぎ始めた実感があります。今後の活動にご期待ください。